

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 東みよし町社会福祉協議会

令和元年度

事業報告書

1. 総括

令和元年度 事業総括

近年、少子高齢化・核家族化・過疎化の進行や生活様式の変化により、これまでの福祉制度の枠組みでは対応することが難しい新たな福祉課題が顕著化しています。多様化・複合化する福祉課題を解決するため、自治会・自主防災会等の地域団体、民生児童委員協議会、婦人団体連合会、ボランティア団体、医療、保健福祉、行政等関係機関と連携し協働で各種事業に取組み、地域包括ケアシステムの構築、見守り、交流、支えあい等、地域福祉活動の推進と介護保険事業、地域包括支援センターの事業を継続運営しつつ、新たな事業を展開し「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」実現を目指しました。

残念ながら新型コロナウイルス感染症が世界的に発生し、2月中旬より感染拡大防止のため各種事業を縮小及び中止致しましたが、その間も住民の皆様には「支え愛」があふれる東みよし町作りのため尽力いただくと共に、本会運営にご理解とご支援、ご参画いただいたことに感謝申し上げます。

重点目標総括

① 社会福祉法人として健全運営と公益的な事業の強化

健全運営と法令遵守に努めるなか、平成30年度大きな赤字となった介護保険事業の運営を見直すことに注力致しました。安定的な財政基盤を確保する為、自主財源となっている社協会費、善意銀行へのご寄付には心より感謝し、人件費確保と地域課題解決の為、居住支援協議会を新しく設置致しました。

地域福祉の中核を担う組織として、全職員が共通認識を持つため月1度の管理職会議、職場内研修（新人研修、コンプライアンス研修）の実施を行いました。有資格者の人材確保のため新規採用2名（介護福祉士1名、ヘルパー1名）を行い人材確保に努めました。反面、求人をしても応募がない職種や離職者が1名出るなど今後に不安も残る1年となりました。

② 地域住民の参画と協働による地域福祉活動の推進

地域支援係では、地域福祉活動計画推進助成事業の拡充、生活支援体制整備事業第2層協議体の設立に向けて協議を重ねました。またいきいきふれあいサロン、こども☆サロンなどは地域や参加者の特性に応じた独自の事業を行えるよう推進しました。重点事業である「さんわ会」事業は自治会や小地域団体と協働で開催、ボランティア連絡協議会による見守り活動や地域福祉活動から安心安全のまちづくりを目指しました。

生活支援係では在宅生活の安定と負担の軽減をはかるためフードバンク、フードドライブ事業、福祉用具貸出事業、介護用品事業など、地域の善意を結集し今すぐ必要な方へお届けできる事業として、住民から多くの理解と協力と期待を得ることができました。特にフードバンク事業は安定的な個別支援として西部圏域協働での事業展開に向けて準備を進めました。

③ 総合相談・生活支援体制の確立と機能強化

新規事業として居住支援協議会を設立し、住宅確保要配慮者の入居支援、入居後の不安軽減のため生活支援を行いました。生活のしづらさを実感されている方への支援として、安心して利用できる心配ごと相談事業、生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業を展開しました。

④ 他機関との連携と情報共有の強化

町内医療法人や社会福祉法人等関係機関と協働・協力のもと、地域包括ケアシステムの充実、地域福祉活動計画推進、高齢者サロン事業を展開しました。また初期相談を合同で行うことで、支援の共通認識とスピード感を高めることが出来ました。各種団体の皆様には社協事業に多数のご参画いただくと共に、様々な個別課題や地域課題を提供いただきました。

台風19号災害で甚大な被害を受けた長野県社会福祉協議会へ職員1名を派遣し、災害ボランティアセンター運営及び被災者支援活動を行いました。

⑤ 災害時対応力の向上

頻発する自然災害への対応のため、住民参加型の夜間の防災体験、小中学校への出前防災学習を行いました。本会事業継続計画（BCP）の見直しを、各課各部署若手職員を中心に行い、災害時対応マニュアルと共に一新致しました。

例年西部圏域持ち回りで開催している災害ボランティアセンター設置運営訓練は三好市社協で開催され、他機関との連携や情報共有を行いました。

⑥ 介護保険サービスの質の向上と人材育成の強化

施設を修繕し、おおぐす荘に特殊浴槽を設置いただき、利用者の立場に立った質の高いサービスと家族の負担軽減をはかり、安心して利用できる施設運営を行いました。本年度も通所介護事業を中心に、居宅介護支援事業や訪問介護、訪問入浴事業は社協らしさを活かして運営してきましたが、利用者の現状もあり訪問入浴事業を本年度で休止することとしました。また担い手講習として、生活援助従事者研修会を開催し9名が修了し1名準職員として雇用しました。

⑦ 地域包括支援センターの運営

東みよし町に即した地域包括ケアの実現に向けて総合相談・権利擁護・個別地域ケア会議からの地域課題の抽出・介護支援専門員の資質向上・認知症への取り組みに重点を置いたセンター運営を行いました。また、認知症カフェであるさんカフェを1ヶ所増設、講演会や介護予防サポーター養成講座の開催、のびのび教室の実施など啓発事業にも努めました。サービスを利用しながらも要支援状態の悪化を防止し自立を目指した介護予防プランの作成を行いました。

⑧ 退職世代の学び・交流・活動の場づくり

高齢者が相互に支えあう仕組み作りと経験や知識を活かした活動を広めるため、シルバー大学校・大学院、シルバー人材センター事業を行いました。

リーダー育成と交流・仲間作り、地域貢献への地盤作りを行うと共に、セカンドライフの充実を図りました。特にシルバー大学校では本年度31名が卒業し早速ボランティア組織を結成し、地域福祉活動の担い手として活動を始めています。

総務課

1. 事業運営の概要

①理事会・評議員会・監事会の開催状況

開催年月日	会議名	審議等事項
R1.5.22	監事会	平成30年度決算監査
R1.6.6	理事会	議案 ①平成30年度事業報告・会計決算報告・監査報告について ②平成31年度第1回補正予算について（案） ③理事・監事候補者の選任について ④第三者委員の選任について ⑤令和元年度第1回評議員会の招集について
R1.6.20	評議員会	議案 ①平成30年度事業報告・会計決算報告・監査報告 ②平成31年度第1回補正予算について（案） ③理事・監事の選任について
R1.6.21	理事会	議案 ①会長・副会長・常務理事の選任について ②諸規定の変更について 報告事項 ①令和元年度 善意銀行払出申込について ②夏季勤勉手当の支給について ③理事長及び常務理事職務執行状況報告について
R1.12.20	理事会	議案 ①評議員の選任について ②令和元年度第2回補正予算（案）について ③令和元年度第2回評議員会の招集について 専決 ①令和元年度第1回予算の流用について 報告事項 ①令和元年度 冬季勤勉手当について ②理事及び常務理事職務執行状況報告について
R1.12.20	評議員会	議案 ①令和元年度第2回補正予算（案）について 専決 ①令和元年度第1回予算の流用について 報告事項 ①令和元年度 冬季勤勉手当について ②理事及び常務理事職務執行状況報告について
R2.3.2	理事会	議案 ①令和2年度事業計画及び当初収支予算（案）について ②第三者委員の選任について ③諸規程の追加について ④令和元年度第3回評議員会の招集について 専決 ①令和元年度第2回予算の流用の報告について
R2.3.25	評議員会 （書面決裁）	議案 ①令和2年度事業計画及び当初収支予算（案）について 専決 ①令和元年度第2回予算の流用の報告について

②広告宣伝活動

社協だよりを2回発行

○1号 4,800部印刷 7月10日から 4,171世帯に配布

○2号 4,800部印刷 2月10日から 4,212世帯に配布

ホームページやフェイスブックを通じた情報提供を行い、ホームページ上ではふれあい・いきいきサロンマップ、AEDマップを掲載し情報を可視化



東みよし町社協
ホームページ



東みよし町社協
フェイスブック



ふれあい・
いきいきサロンマップ



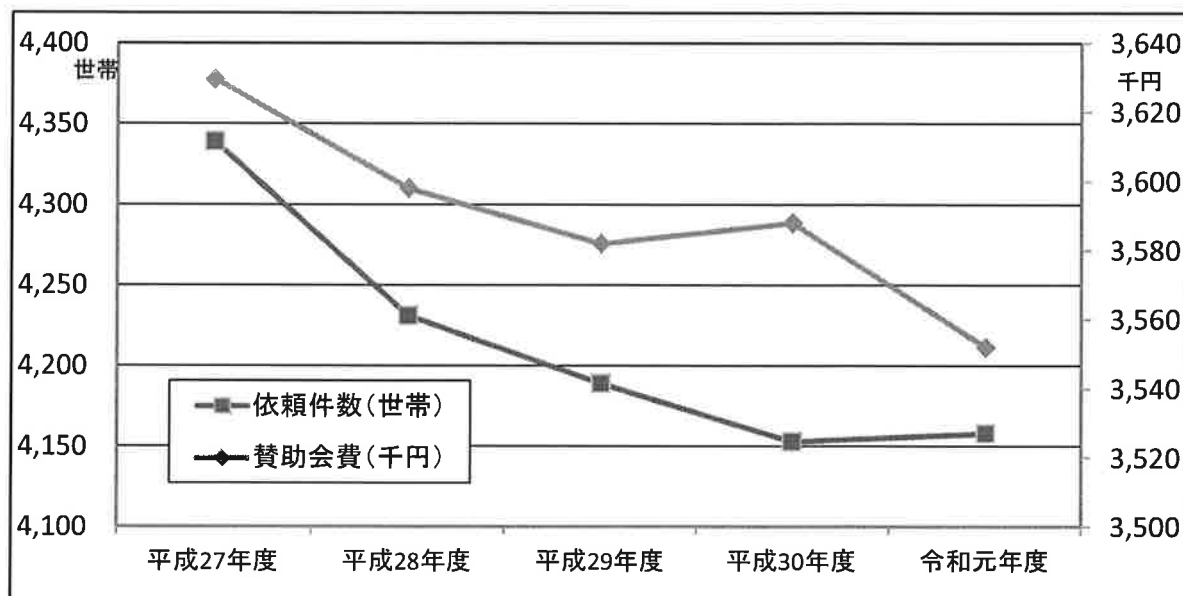
東みよし町
AEDマップ

③社協賛助会員及び賛助会費

社協の事業は、県や町の補助金・受託金・共同募金の配分金・寄付金等だけでなく、社協の行う事業に賛同し、社協の理念・活動を支えていただける社協会員の皆様のご協力により成り立っております。

住民の皆様が住み慣れた地域で暮らせるために、高齢者・障害者支援、ボランティア活動支援、地域づくり支援（さんわ会）などの地域福祉充実を推進するための原資です。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
依頼件数（世帯）	4,339	4,231	4,189	4,153	4,158
賛助会費（千円）	3,630	3,598	3,582	3,588	3,552
加入率	83.65%	85.04%	85.51%	86.40%	85.43%

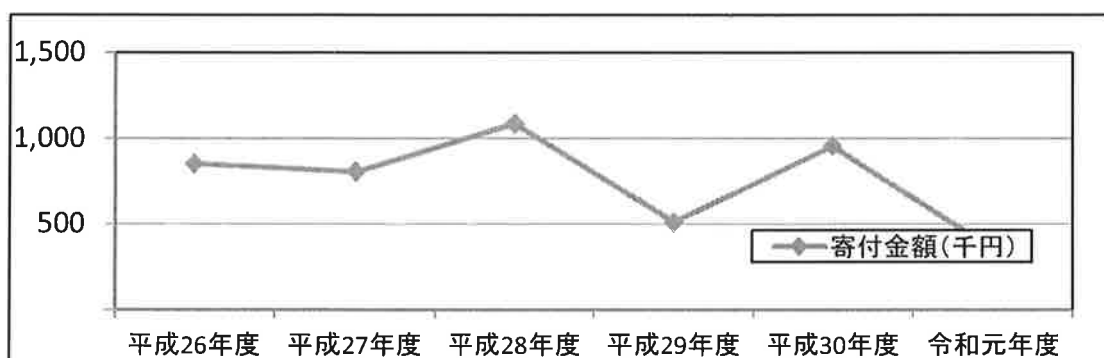


④善意銀行事業（預託実績）

町民の皆様から善意のこもった金銭や物品をお預かりし、その善意をさまざまな地域福祉事業等で役立てています。

安心して暮らせる福祉のまちづくりのために、善意銀行の趣旨をご理解いただき、町民の皆様の温かいご支援ご協力をお願い致します。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
寄付金額（千円）	854	805	1,086	514	955	352



【平成29年度】

年月日	寄付申込者（敬称略）	自治会	預託金・物品
H29.5.19	小川流家庭舞踊研究会 第2回チャリティー芸能大会		23,097 円
H29.5.29	木村賢一	上ノ段	50,000 円
H29.5.31	真鍋 勝	宮ノ岡	200,000 円
H29.9.1	長井英治		介護用品7点
H29.9.6	池田法人会 チャリティーゴルフ大会		20,000 円
H29.9.22	宮田晴義	稲持西	100,000 円
H29.10.17	川原芳包		商品券 5,000 円
H29.12.8	森岡奉義	土取住宅	熊手5本
H29.12.18	篠原富雄	東原	50,000 円
H30.2.27	東みよし町地区対抗チャリティーゴルフ大会 代表 加藤仁		65,743 円
合 計			現金 513,840 円 * 介護用品7点 熊手5本

* 内訳：尿取りパッド4袋、はくパンツ2袋、使い捨てシート1袋

○H29.8.30テント2張購入

【平成30年度】

年月日	寄付申込者(敬称略)	自治会	預託金・物品
H30.4.24	川原千秋	桑内	介護用品7点
H30.5.16	池田法人会 チャリティーゴルフ大会		30,000 円
H30.6.19	昼間白百合会		233,631 円
H30.6.27	木藤明宏	西山路	車椅子1台
H30.7.23	横関喜八郎	西原	100,000 円
H30.8.30	谷藤洋平	西原	200,000 円
H30.10.29	中村 茂		車椅子4台
H30.11.12	東みよし町地区対抗チャリティーゴルフ大会 代表 加藤仁		47,220 円
H30.12.5	スバルの会 秋田忠節		14,620 円
H30.12.10	森岡奉義	土取住宅	熊手6本
H31.2.7	西日本高速道路サービス・ホールディングス 四国支社 中村 茂		車椅子2台 空気入れ1台
H31.2.22	篠原富雄	東原	30,000 円
H31.3.12	原 浩之	高田	300,000 円
合 計			現金 955,471 円

【令和元年度】

年月日	寄付申込者(敬称略)	自治会	預託金・物品
H31.4.8	歌声クラブ 近藤美佐子		3,486 円
H31.4.26	石井勝次	安広	コンプレッサー1台
R1.5.14	高畠 忍	石木	100,000 円
R1.5.24	池田法人会 チャリティーゴルフ大会	西山路	20,000 円
R1.7.5	大西典昭	東原	50,000 円
R.10.1	大西シズ子		ラジカセセット1ヶ
R1.11.15	養学 聰快	大藤	介護ベッド1台
R1.12.2	木村シズエ	高田	20,000 円
R1.12.6	東みよし町地区対抗チャリティー ゴルフ大会 代表 加藤仁		58,463 円
R2.1.28	森岡奉義	土取住宅	熊手5本、箒3本
R2.1.30	檜 智英	原中	100,000 円
R2.3.18	ポーラエステインGreen 中川緑里		ハンドクリーム16本
合 計			現金 351,949 円

○R1.6.28エアコン3台購入

地 域 福 祉 課

地域福祉事業

1. さんわ会事業

地域の支え愛の再構築と地域課題の可視化、防災・減災活動として多くの方にご参加いただきました。本年度は親子会、広域自主防災組織等5団体で新たにさんわ会を開催することができ、本事業により地域づくりの推進に寄与できたものと思います。また延べ16か所、1400名余りの皆様にご参加いただき、支え愛マップの作成を通して日頃の支えあいと地域課題を考える機会となった一方、未実施自治会の減少にはつながっておらず、92/148自治会（達成率62.2%）となりました。

	年月日	回数	主 催	場 所	人数	炊き出し	マップ	防災講話	避難シミュ
1	R01/05/12	4	光北自治会	光北集会所	50人	○	○	○	
2	R01/05/12	8	南平台自治会	南平台集会所	22人	○	○	○	
3	R01/05/12	7	北村一心会	北村会館	80人	○	○		
4	R01/06/02	17	絵堂っ子倶楽部	絵堂小学校	40人	○	○		
5	R01/07/31	初	西光安広親子会	やまももハウス	18人	○		○	
6	R01/08/03	2	井関西庄団地親子会	社会福祉協議会	37人	○		○	
7	R01/08/18	5	宮の岡自主防災会	宮の岡集会所	35人	○	○	○	
8	R01/08/21	初	古川親子会	古川集会所	30人	○		○	
9	R01/08/24	初	昼間小学校親子会	昼間小学校	150人	○			
10	R01/09/01	6	岸下自治会	岸下集会所	15人	○	○	○	
11	R01/09/08	初	東みよし町手をつなぐ育成会	社会福祉協議会	100人	○			
12	R01/09/22	2	山根西自治会5班	山根生活改善センター	30人	○	○	○	
13	R01/10/20	7	三庄東部自主防災会	みかもん	53人	○	○		
14	R01/11/09	初	足代地域の防災を考える会	足代小学校	400人	○			
15	R02/01/29	3	三好中学校	三好中学校	200人	○			
16	R02/02/23	7	守る会東山	東山小学校	200人	○			
合 計					1460人				

自治会開催状況：92/148自治会

2. 地域福祉活動推進事業

自治会や地域団体等が主体となって行う、地域交流、世代交流などの地域福祉活動計画の目標達成のための事業に対して助成を行う事業です。

地域福祉活動計画では、いきがづくりやあいさつ声かけ等の『つながり』、ご近所での助け合いや自治会活動の充実による『絆』、世代間交流や学校・施設を活用した活動による『地域力』が地域課題として明らかになっており、それらを解決する活動の支援を行いました。

	年月日	実施主体	場 所	参加人数	事業内容
1	R01/05/04	西庄良所会	水の丸周辺	150人	水の丸高原ウォーク
2	R01/10/05	西庄さんわ推進会	西庄池周辺	55人	西庄池周辺環境美化活動
3	R01/10/06	法市農村舞台実行委員会	法市農村舞台	300人	法市農村舞台公演
4	R01/10/27	絵堂っ子区楽部	絵堂小学校	120人	絵堂っ子まつり
5	R01/11/24	西庄良所会	西庄小学校	68人	西庄フェスタ
6	R02/02/26	西庄良所会・西庄長生会	西庄公民館	40人	西庄地区お食事会
7	R02/02/27	ボランティアグループ愛東山	東山公民館	34人	東山地区お食事会
合 計				767人	

※増川食事はコロナの影響により中止、大藤お食事会は共同募金配分金により開催

3. ふれあい・いきいきサロン支え隊事業【町受託事業】

高齢化やご近所による見守りや支えあいの希薄化が問題視される現状に鑑み、地域での『気軽に』『楽しく』集まれる場所づくりのためにサロン活動の開催を促し支援しています。

◇サロン設置数及び登録人数

地 区	設置数	登録人数	年間開催回数	延べ参加人数	新設数	解散数
三庄平坦地区	17か所	220人	316回	2726人	4か所	1か所
三庄山間地区	2か所	22人	42回	387人	-	-
加茂地区	9か所	130人	239回	1973人	1か所	-
昼間地区	6か所	88人	171回	1817人	1か所	-
足代地区	9か所	105人	224回	1754人	-	-
東山地区	2か所	21人	23回	241人	1か所	1か所
合 計	45か所	586人	1015回	8898人	7か所	2か所

◇こども★さろんの開催

開 催 日：7月29日（月）、8月7日（水）

会 場：昼間老人憩いの家、児童公園プール

内 容：宿題支援、大型紙芝居、ゲーム、竹を使った水鉄砲づくり、
楽しく水遊びをするための講習会

協力団体：ふれあい・いきいきサロン連絡協議会、民生委員児童委員協議会、
おはなしグランマ、ボランティア愛、昼間長生会

※宿題支援は令和元年度より新たに取り組み開始

4. 地域支援事業（通いの場）【町受託事業】

要支援や要介護状態になるのを予防し、いつまでも元気な老後をめざすため、身近な通いの場（お住まいの地域）で5人以上のグループをつくり、介護予防への取り組みを自主的に行っていただくための支援をしています。

◇通いの場主な内容

- ①「いきいき百歳体操（徳島版）」等の体操を実施
- ②初回から4回は理学療法士、またはサロンコーディネーターが実技指導を行う
- ③職員が訪問し、健康チェックと体力測定を行う（初回、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後、1.5年後、2年後、2.5年後、3年後）
- ④定期的に理学療法士が実技指導を行う（初回、3ヶ月後、1年後、2年後、3年後）

地区名	設置数・登録人数			体力測定等実施回数・専門職派遣数	
	設置数	登録人数	新設数	実施回数	理学療法士派遣数
三庄平坦地区	13か所	159名	2か所	24回	10回
三庄山間地区	1か所	12名		2回	1回
加茂地区	6か所	102名		11回	5回
昼間地区	5か所	81名		9回	4回
足代地区	7か所	78名		10回	3回
東山地区	2か所	27名	1か所	9回	3回
合 計	34か所	459名	3か所	65回	26回

5. 生活支援体制整備事業【町受託事業】

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護サービスの提供のみならず、東みよし町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に実施します。

本年度は第1層（町域）での協議体による町の資源の整理や、地域課題の把握と新たな生活支援サービスの開発などを目的に推進員会議を開催するとともに、第2層（身近な生活圏域）での協議体の設置をすることを計画し事業を実施しました。

◇第1層協議体（町域）支えあい推進員会議の開催

1回目：令和元年 6月27日（木） 10:30～11:30

【内容】協議体の概要と活動予定について、役員選任について、地域課題について

2回目：令和元年 8月 1日（木） 13:30～15:00

【内容】地域にあるサービス整理シートの作成

3回目：令和元年 9月18日（水） 13:30～15:00

【内容】徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科 准教授 古川明美氏による講義

4回目：令和元年10月24日（木） 13:30～15:00

【内容】第2層協議体の設立について

5回目：令和元年11月25日（月） 13:30～15:00

【内容】第2層協議体の設立について

6回目：令和元年12月23日（月） 13:30～15:00

【内容】空き家を活用した取り組みについて

◇第2層協議体（小地域）支えあい推進協議体設立について

第1層支えあい推進協議体により第2層協議体の設立について協議し、①昼間・増川、②足代、③東山、④加茂、⑤西庄平坦、⑥西庄山間、⑦中庄・毛田・大藤の7地区に分けて第2層協議体を設置することとなりました。第1層支えあい推進員の推薦をもとに各地区の支えあい推進員に呼びかけを行い計64名（令和2年3月31日現在）の皆さんにご協力いただき第2層協議体を設立。

今後の地域づくりについて考えるきっかけとして、第1層及び第2層東みよし町支えあい推進員の皆さんを中心に、「地域支えあい講演会」として研修会を開催する予定で講師の調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のために延期することとなり、次年度以降への継続となっています。

6. 赤十字事業

○日本赤十字社活動支援費募集状況

日本赤十字社活動支援費は、婦人会長さんや自治会長さんを通じて町内各戸1世帯600円を目標にお寄せいただいたもので、国際救助活動、医療活動、献血活動や赤十字救急法等の講習など多岐にわたって活用させていただいています。東みよし町内ではさんわ会などの講習会や災害時救護活動、災害時のお見舞い金や救急セットの配布などに活用されています。

また、赤十字特別社員では毎年2,000円以上の活動支援費を10年以上継続してご支援いただいている活動支援員です。

◇令和元年度 日本赤十字社赤十字活動支援費

【目標額】 2,280,000円

・活動支援費	3,589件	2,144,820円
・特別社員	40件	80,000円
計	3,629件	2,224,820円 (△55,180円)

○小規模災害見舞品交付

日本赤十字社徳島県支部では、災害救助法の適用を受けない小規模の火災・風水害等により被害を受けた方に対し、援護物資や見舞金をお届けしています。

全焼・・・1件 見舞金 20,000円〔別に共同募金緊急災害見舞金20,000円〕
見舞品〔救急セット2個、毛布4枚、タオル20枚、石鹼20個〕

7. 共同募金事業 ～東みよし町共同募金委員会～

○東みよし町共同募金委員会

実施状況：運営委員会 ①令和元年5月24日 ②9月20日
助成審査会 令和2年3月30日

○令和元年度 共同募金結果

10月1日～12月31日を期間とし、住民の皆様方の深いご理解のもと本年度目標額2,432,200円を上回る多くの募金を頂きました。

【赤い羽根共同募金 2,295,765円】

(内訳) 自治会	1,802,537円	
街頭募金	64,522円	10/1, 11/4街頭募金
職域募金	225,000円	
学校募金	3,706円	三庄小学校
個人募金	200,000円	

【歳末たすけあい募金 350,000円】

(内訳) 自治会	302,883円	
街頭募金	34,444円	みよしチャリティーロードレース大会
職域募金	1,796円	
個人募金	10,877円	

○「東みよし町を良くするしくみづくり」助成事業の募集及び助成

住民の皆様にご協力頂いた共同募金を原資とし、東みよし町で活動するボランティア団体や福祉団体等に対して助成することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進することを目的としています。

◇本年度の助成内訳

(1) 社会福祉協議会が行う地域福祉活動費	
17事業	1,388,000円〔前年度比 1事業減 155,200円増〕
(2) 自治会等の地域団体が行う小地域での福祉推進のための活動費	
3事業	90,000円〔前年度比 1事業増 30,000円増〕
(3) 地域福祉を目的とした福祉団体やボランティア団体などの活動費	
8事業	270,000円〔前年度比 1事業増 60,000円減〕
計 28事業	1,748,000円〔前年度比 1事業増 125,200円増〕

8. ボランティア事業

ボランティア育成事業や、防災事業、ふくしの保険加入事業等を実施しました。

○夏休みボランティアスクール

- ・ 事業内容 中学生・高校生を対象としたボランティア教室を開催し、夏休みを利用したボランティア活動を体験することにより活動への意識づけときっかけ作りになることを目的に開催。
- ・ 開催状況 7月27日(土)、28日(日) 17名の参加により開催
- ・ 内容 【27日】 ボランティアについて
(障がい者の支援・接し方、災害ボランティアについて)
朗読ボランティアについて学ぼう
夜間の防災体験イベント運営支援ボランティア
【28日】 障がい者映画鑑賞会での支援ボランティア

○ボランティアセンター事業

【相談事業】

- ・ 相談件数 9件
- ・ 相談内容
 - ☆助成金の申請について
 - ☆ボランティア保険について
 - ☆会員の確保について

【ボランティア保険加入状況】

- ◇ボランティア活動保険 355名加入
- ◇ボランティア行食用保険 27件 16,735名加入

9. 防災啓発事業

防災啓発に関する事業及び組織内における災害対応力の向上のための事業を実施しました。

○夜間の防災体験

- ・ 事業内容 朝昼を問わず起こりうる災害に対する備えを啓発するために夜間の防災体験を開催。イベント運営支援を夏休みボランティアスクールに参加の学生が実施。
- ・ 開催状況 7月28日(土) 96名の参加により開催
- ・ 会場 東みよし町社会福祉協議会
- ・ 内容 ○防災クイズ ○ハイゼックス de フォンデュ ○いきいき百歳体操
○丸太コンロのポップコーン ○バルーンアート ○かき氷

○事業継続計画（BCP）及び災害時対応マニュアルの見直し

全4回の策定委員会により第2期東みよし町社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の見直し及び災害時職員行動マニュアルの見直しを行いました。

○防災フェスティバル2020【中止】

3月8日（日）の開催予定で準備を進めていましたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止しました。

10. シルバー人材センター

シルバー人材センターでは60歳以上の健康で働く意欲のある方を会員として登録いただき、屋外での除草作業や剪定作業、公園の清掃等のほか、各種屋内作業や表装作業など、高齢者の知識と経験を活かした就労を通じた『いきがづくり』や『仲間づくり』に寄与しています。

(1) 月別事業実績

	会員数			受注件数			契約金額			延人員	実人員	就業率
	男	女	計	公共	民間	合計	公共	民間	合計			
4月	47	40	87	23	44	67	606,555	523,213	1,129,768	378	55	63.2%
5月	52	40	92	28	88	116	647,685	1,320,329	1,968,014	612	65	70.7%
6月	55	41	96	31	77	108	943,095	1,123,196	2,066,291	506	63	65.6%
7月	56	42	98	33	70	103	1,156,329	917,168	2,073,497	595	69	70.4%
8月	56	43	99	26	92	118	3,375,563	957,104	4,332,667	603	70	70.7%
9月	56	44	100	31	79	110	746,070	931,066	1,677,136	513	66	66.0%
上期計				172	450	622	7,475,297	5,772,076	13,247,373	3,207	82	82.8%
10月	56	44	100	23	68	91	715,969	1,374,686	2,090,655	524	75	75.0%
11月	56	44	100	25	58	83	833,482	1,280,441	2,113,923	462	66	66.0%
12月	56	44	100	23	51	74	742,895	713,745	1,456,640	387	61	61.0%
1月	57	44	101	21	13	34	508,720	234,720	743,440	240	43	42.6%
2月	57	44	101	26	28	54	757,958	535,426	1,293,384	303	52	51.5%
3月	58	44	102	17	35	52	585,346	385,311	970,657	267	54	52.9%
下期計				135	253	388	4,144,370	4,524,329	8,668,699	2,183	86	87.0%
合計	58	44	102	307	703	1,010	11,619,667	10,296,405	21,916,072	5,390	90	
前年比	+5	+4	+9	-18	-11	-29	-396,417	-5,198,581	-5,594,705	-1,438	+3	

(2) 職群別就業状況

職群	職種	受注件数	実人員	延人員	契約金額	比率	備考
事務的業務	外勤事務	4	4	6	3,240	0.0%	見積業務他
専門的・技術	開発技術者	9	14	30	159,155	0.7%	
農林漁業	農業および林業	173	46	522	3,415,319	15.6%	農作業、庭木の剪定
生産工程の職業	製品製造・加工処理	18	5	30	374,496	1.7%	
輸送・機械運転の職業	自動車の運転	10	2	11	33,928	0.2%	配食配達他
建設・採掘の職業	建設及び土木作業	19	19	89	568,666	2.6%	大工仕事他
清掃・除草・包装等	室内外清掃・除草	777	89	4,702	17,361,268	79.2%	清掃、除草作業等
合計		1,010	90	5,390	21,916,072		

(3) シルバー派遣事業実績

職群	契約件数	実人員	延人員	契約金額	備考
サービスの職業	4	15	346	1,507,673	介護、調理補助、施設清掃等
農林漁業の職業	1	2	15	45,541	
輸送・機械運転の職業	1	2	50	210,247	運転業務
運搬・清掃・包装等の職業	6	30	2,507	10,338,647	工場内清掃、製材板乾燥、除草等
合計	12	43	2,918	12,102,108	
比較増減	+2	+29	+1,992	+8,266,876	

(4) 短時間日常生活支援事業

職種	契約件数	実人員	延人員	契約金額
ゴミ出し	4	1	15	1,500
生活用品の買い物	1	1	1	500
合計	5	2	16	2,000

11. シルバー大学校・大学院【県受託事業】

高齢者自身が生きがいをもって豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を援助し、将来は地域福祉を推進するリーダーの養成を目的としています。

また、シルバー大学院では専門性の高いレベルでの学習の機会を提供しています。

- シルバー大学校 毎週水曜日10:00~15:00開校
 - 歴史文化コース 卒業生 17名/受講者 17名
 - ICTコース 卒業生 14名/受講者 16名 計 卒業生31名/受講者33名

- シルバー大学院 毎週月曜日10:00~15:00開校
 - ICTコース 卒業生 13名/受講者 14名

12. 各種福祉団体の状況

- i 東みよし町ボランティア連絡協議会 11団体353名、個人19名
町内のボランティアグループの連携調整を図ったり、研修会などを開催。主な事業としては町内全域の高齢者を対象とした配食サービスを実施し、年末に餅、味噌の配布を実施。また、他町との視察交流研修や、朗読ボランティアのレベルアップ講座、調理講習会などを開催し、ボランティアの資質向上に努めた。

- ii 東みよし町老人クラブ連合会 9クラブ会員数622名
交流事業を中心に、体育大会(349名)、友愛訪問活動(56名)、介護予防事業、高齢者の社会参加促進事業を県老連から受託し事業展開を行った。また、コロナウイルスの影響で交通安全ウォーキング大会を中止することとなったが、若手部長による「すりすり体操」を3/23~3/31までの間、ケーブルテレビで放送し、会員の筋力低下の予防・健康増進に寄与し、健康づくり、生きがいづくり、高齢者の社会貢献を中心として活動。

- iii 東みよし町身体障害者会 会員数80名
総会(21名)、研修会(28名)、三好市・東みよし町合同体育大会(63名)を開催し交流親睦を図った。上部団体や西部地区での研修会等を積極的に開催・参加し、障害者福祉の向上に努めた。

- iv 東みよし町ゲートボール協会 6チーム会員数42名
高齢者の健康づくり、生きがいづくりとして活動。
年2回の町内大会、毎月の月例大会を主催し、県大会など各種大会へも出場した。

- v 東みよし町遺族連合会 加茂・三庄・三好の3地区の遺族会により構成
役員総会を開催し、意見交換、親睦を図るとともに、各地区遺族会ごとに上部団体主催の会議にも積極的に参加した。

- vi 東みよし町手をつなぐ育成会 会員数13世帯30名
総会、研修会(ふれあいキャンプ、クリスマス会、日帰り研修、奉仕作業)などを通じて会員相互の親睦を図った。

生活支援事業

13. 生活困窮者自立支援事業【県社協受託事業】

本事業では、経済的な問題のみならず、精神的、家庭的、健康的な問題等複合的な問題を抱えながら地域生活を送られている方を対象に、自立と尊厳の確保を目指し、包括的・個別的・早期的・継続的な支援の実践を行ないました。

相談支援員（兼）就労相談支援員 1名（とくしま・くらしサポートセンター 東みよし担当）
担当職員 1名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数（総数）		5	3	4	0	2	0	2	4	1	2	0	2	25
プラン作成件数（総数）		0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	2	0	8
就労支援対象者数		0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2	0	6
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計相談支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労準備支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
その他	生活福祉資金等による貸付	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	5
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2

○フードバンク・フードドライブ事業

9団体、51名から物品を提供していただき、245名（町内240名、町外5名）の方々に配布しました。事業への取組みが徐々に浸透しており、町内外から物品を提供していただいています。

今年度は、(株)セブン-イレブン・ジャパン様より店舗閉鎖に伴う商品を寄贈していただき、町内施設（幼稚園・みかもハイツ・愛育園）へクリスマスプレゼントとして配布することが出来ました。また、ワークサポートやまなみ様のグループホーム移転のため家電製品・家具などを提供していただき、必要としている方々へお配りしました。

フードバンク・フードドライブ事業を通じて、多くの方々とつながりを持つことが出来、関係機関とも連携して取り組みました。

14. 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金貸付と相談・支援を行うことにより世帯の経済的自立や在宅福祉・社会参加の促進を図ることを目的とした制度です。

◇貸付状況（令和2年3月末日現在）

資金種類	貸付件数	貸付金額	滞納件数	滞納金額
総合支援資金	2件	1,200,000円	1件	73,300円
更生資金	4件	2,806,631円	4件	2,005,031円
福祉資金	11件	14,074,411円	7件	6,198,034円
教育支援資金・修学資金	33件	33,759,000円	23件	3,640,040円
緊急小口資金	6件	512,187円	6件	406,617円
合 計	56件	52,352,229円	41件	12,323,022円

◇本年度貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付金額	滞納件数	滞納金額
福祉資金	1件	1件	1,272,000円	0件	0円
修学資金	1件	1件	990,000円	0件	0円
緊急小口資金	7件	7件	280,000円	1件	60,000円
合 計	9件	9件	2,542,000円	1件	2,542,000円

◇償還完了状況（平成31年4月1日から令和2年3月31日償還完了分）

資金種類	完了件数	償還金額合計
福祉資金	2件	1,668,000円
教育支援資金・修学資金	1件	2,660,000円
緊急小口資金	7件	250,000円
合 計	10件	4,578,000円

【緊急小口資金等新型コロナウイルス特例貸付】

3月25日より、新型コロナウイルスの影響を受けて収入が減少した世帯を対象とした、緊急小口資金特例貸付〔1世帯上限20万円〕及び総合支援資金（生活支援費）特例貸付〔単身世帯上限15万円×3か月、2人以上世帯上限20万円×3か月〕の受付を開始しました。

15. 福祉つなぎ資金貸付事業

一時的に生活に困窮している低所得世帯（町内に在住する低所得世帯で臨時的出費又は、収入の欠如等により生活を維持するのが困難な世帯で、生活福祉資金貸付制度で貸付決定された者及び会長が特に必要と認めた者）に対し、生活の安定を図るために資金を貸し付けています。

◇本年度貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付合計	滞納件数	滞納金額
福祉つなぎ資金	12件	12件	195,000円	0件	0円
合 計	12件	12件	195,000円	0件	0円

16. 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】

福祉サービスの利用援助を行うと共に、日常的な金銭管理を行い地域での生活の為の支援を行っています。

◇相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

内 容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他		
a. 問い合わせ件数 (制度・事業について)	0	0	0	0	0	0
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	0	0	0	0	0	0
c. 相談援助件数 (ab 以外)	128	672	759	13	2	1,574
合 計	128	672	759	13	2	1,574

◇契約締結件数（令和元年度の契約締結件数）

対象者 事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
	契 約 者 数	0	1	2	0	
契約時 自宅外 (再掲)	施設	0	0	0	0	0
	病院	0	0	1	0	1
	グループホーム	0	0	1	0	0

◇終了件数（令和元年度末まで）

対象者 事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
終 了 件 数	2	0	0	0	2

◇現在の実利用人数（令和元年度末現在）

対象者 事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
実利用人数	1	7	9	0	17

◇契約準備件数（令和元年度末現在）

対象者 事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
契約準備件数	0	0	0	0	0

17. 居住支援事業

低所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯などで住宅を確保することが困難な方（住宅確保要配慮者）が民間賃貸住宅等へ円滑に入居できるよう推進するとともに入居後に必要な福祉サービスを始めたとした各種サービスが利用できるよう支援を行いました。

○東みよし町居住支援協議会の設置

不動産、福祉・医療、法律、行政、研究者などの専門家で構成する協議会を設置し、住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後サポートを実施します。

◇会議の開催状況

- 第1回居住支援協議会 平成31年 4月22日(月) 13:30~15:00
- 第2回居住支援協議会 令和元年10月 2日(水) 10:00~12:00
- 第3回居住支援協議会 令和 2年 1月30日(木) 10:00~12:00

◇相談受付状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数（総数）		4	1	2	2	0	1	3	1	4	3	3	1	25
	終了	4	1	2	0	0	1	3	0	2	3	3	1	20
	継続	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	5
経過	空き家登録	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	引越	3	1	0	2	0	0	2	1	3	2	2	0	16
	不動産会社等への取次ぎ	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	4
	その他	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	4
制度の利用等	生活保護受給申請	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	生活福祉資金貸付事業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	日常生活自立支援事業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	配食サービス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	福祉電話設置事業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	5

18. 心配ごと相談事業【町受託事業】

三加茂地区は毎月第1・3金曜日午後、三好地区は毎月第2・4木曜日午前に悩みごと・困りごと等、秘密厳守・無料で相談窓口を開いています。心配ごと相談・人権相談・行政相談・身体障害者相談の窓口を設け、親身に相談に乗ると共に、適正な関係機関への連絡・調整等も行い、悩みごとの改善に努めます。近年はご近所とのトラブルに関する相談や相続に関する相談が多く、専門機関につなげています。

【開設状況】	三加茂	三好	合計
開設回数	21回	24回	45回

相談件数	【相談状況】	来所	自宅等	来所	自宅等	来所	自宅等
	心配ごと相談	0件	36件	1件	3件	1件	39件
	行政相談	0件	1件	12件	10件	12件	11件
	人権相談	1件	0件	0件	0件	1件	0件
	身体障害者相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	居住支援相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	合計件数	1件	37件	13件	13件	14件	50件

◇大藤・奥村出張相談の実施

令和元年10月30日（木）に大藤公民館にて19名の相談員による出張相談を実施し、相談を受けた内容で困難な事例や相談時の対応についてなど相談員間での情報共有・研修を行いました。

19. 配食サービス事業

75歳以上の独居世帯、80歳以上の高齢者世帯や障害者世帯などの要配慮者の見守り活動の一環として、地域のボランティアさんが、旬の食材で作ったお弁当を毎月1回、また年末にはお餅と味噌を無料で宅配しています。

◇配食数

月	三加茂地区		三好地区			計
	三加茂	絵堂	昼間	足代	東山	
4月	170	19	43	31	29	292
5月	169	19	45	33	29	295
6月	174	19	44	34	29	300
7月	174	19	48	30	29	300
8月	180	18	45	29	29	301
9月	176	18	48	31	29	302
上期計	1,043	112	273	188	174	1,790
10月	178	19	47	31	29	304
11月	176	19	44	31	29	299
12月	0	0	43	29	25	97
1月	150	0	40	31	25	246
2月	148	0	41	30	27	246
3月	173	18	41	29	25	286
下期計	825	56	256	181	160	1,478
合計	1,868	168	529	369	334	3,268

※三加茂地区は原則第3木曜日に絵堂地区は第3金曜日に、三好地区は第2金曜日に実施。
増川の調理は昼間にて実施。

◇利用登録者数

(単位:人)

三加茂	絵堂	昼間	足代	東山	増川	合計
236(+43)	29(+4)	67(-4)	41(+7)	36(-2)	8(±0)	417 (+48)

カッコ内は前年度対比数

◇ボランティア(調理・配送)登録者数

(単位:人)

三加茂	絵堂	昼間	足代	東山	増川	合計
128(+58)	12(+1)	31(-2)	26(-2)	10(+1)	1(±0)	208(+56)

カッコ内は前年度対比数

20. 移送サービス事業【町受託事業】

山間地域にお住まいで交通手段がない方や不便な世帯の65歳以上の高齢者や障害者の方が、在宅で自立した生活を送るために、乗合バスにより、片道200円で町内の「医療機関」及び「公共機関」へ毎週1回送迎を行っています。

運行にあたっては町内タクシー業者に運転業務を委託し、安全に配慮した運行を心掛けています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
運行日数(日)	344	339	305	345	332
利用者数(人)	1,671	1,642	1,521	1,637	1,692
登録者数(人)	206	190	197	178	171

◇運行状況

月	三加茂地区		三好地区		合計	
	運行日数(日)	利用者数(人)	運行日数(日)	利用者数(人)	運行日数(日)	利用者数(人)
4月	15	62	16	66	31	128
5月	15	89	13	65	28	154
6月	15	73	13	67	28	140
7月	16	92	15	86	31	178
8月	8	52	13	59	21	111
9月	13	71	14	65	27	136
上期計	82	439	84	408	166	847
10月	15	82	16	78	31	160
11月	15	72	11	55	26	127
12月	16	84	15	65	31	149
1月	15	76	11	50	26	126
2月	12	51	13	56	25	107
3月	15	77	13	54	28	131
下期計	87	487	79	358	166	845
合計	169	926	163	766	332	1,692

◇登録者数(長期不在者除く)

班	運行日	該当地区	登録者数(人)	
三加茂地区	1班	水曜日	大藤・奥村	35
	2班	火曜日	引地・白内・桑内・加茂山上・加茂山下	26
	3班	木曜日	泉野・五名上・五名下・平・新発地・森清	32
	4班	金曜日	毛田・毛田西山・喜藤・黒長谷	9
	計			102
三好地区	1班	月曜日	石木・棟木・増川・柳沢	8
	2班	火曜日	葛籠・男山	22
	3班	水曜日	滝久保・岸上・岸下・内野	26
	4班	金曜日	足代中屋・笠楯・聖神・畑・法市	13
	計			69
合計			171	

21. 福祉用具貸与事業

短期貸出では、障害者や高齢者などが旅行等で一時的・短期的に車椅子、歩行器が必要となった際に無償で貸出しを行っています。長期貸出では、介護保険で非該当または要介護1以下の障害者や高齢者が、福祉用具を提供することにより、在宅で自立した生活が送れるように支援を行います。なお、消毒代金の一部を利用者さんにご負担いただいております。

【短期貸出】	貸出件数
車いす	13件
歩行器	1件

【長期貸出】	令和元年度	3月末累計
車いす	2件	3件
歩行器	0件	1件
ベッド・特殊マット	4件	12件

22. 福祉電話設置事業【町受託事業】

要援護者世帯等で通信手段がない世帯に対して、緊急連絡を可能とする為の電話の設置を行い、互助力・共助力の向上をはかり、地域から孤立や孤独をなくします。固定電話設置にかかる工事費、毎月の基本料金を本事業により負担し、毎月の通話料金を個人負担いただき利用いただいております。

◇電話回線契約状況 新規2件 令和2年3月末現在契約件数6件（前年度末比+2件）

23. 地域生活支援事業【市町・広域連合等受託事業】

○生活訓練等事業(知的コミュニケーション)

- ・事業内容 他の参加者との交流や社会体験を通じ、生活範囲の拡大と生活の質の向上を図り、社会参加の促進を図ることを目的に映画鑑賞会を開催しています。
- ・実施状況 7月28日開催 場所：イオン綾川ショッピングセンター
参加人数：97名（参加者66名、職員16名、ボランティア18名）

○自発的活動支援事業

- ・事業内容 障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者等、その家族、地域住民等による地域における自発的な取り組みを支援することにより、共生社会の実現を図ります。

【手をつなぐ育成会】

奉仕作業を行い、終了後に懇親会を行って、障害者のボランティア活動を支援しました。

【手話サークルみかも】

ふれあいデイキャンプにて聴覚障害者と健聴者のコミュニケーションを深め、ボランティア活動を支援しました。

- ・実施状況 【育成会】 5月29日 参加人数：10名
 【手 話】 9月 8日 参加人数： 4名

○手話通訳者派遣事業

- ・事業内容 聴覚障害者を対象とし、日常生活や各種催しなどの際に、必要に応じて手話通訳者を派遣します。
- ・実施主体 徳島県聴覚障害者福祉協会
- ・登録手話通訳士 16名 手話通訳者 58名
- ・実施状況 利用回数29回

○要約筆記者派遣事業

- ・事業内容 日常生活や講演等各種催しにおいて、聴覚障害者のために要約筆記者を派遣します。
- ・実施主体 JCI Teleworkers' Network
- ・要約筆記奉仕員 6名 要約筆記部員 1名
- ・実施状況 利用回数 1回

○声の広報発行事業

- ・事業内容 毎月1回朗読ボランティアの協力により、町発行の広報誌をCDに録音し声の広報として視覚障害者に配布しています。なお、社協広報誌についても同様に発行しています。
- ・実施主体 朗読ボランティア：パラピリプルペレポロ6名
- ・実施状況 回数：12回(町広報誌) 4回(議会だより) 1回(社協広報誌)
配布世帯数：5世帯

○手話奉仕員養成講座事業(入門編)

- ・事業内容 手話通訳者の養成を目的とした講習会を開催する。
- ・実施状況 5月24日(金)～11月1日(金) 全23回
毎週金曜日 19:30～21:00
- ・受講人数 18名(うち16名修了)

在 宅 福 祉 課

介護保険事業

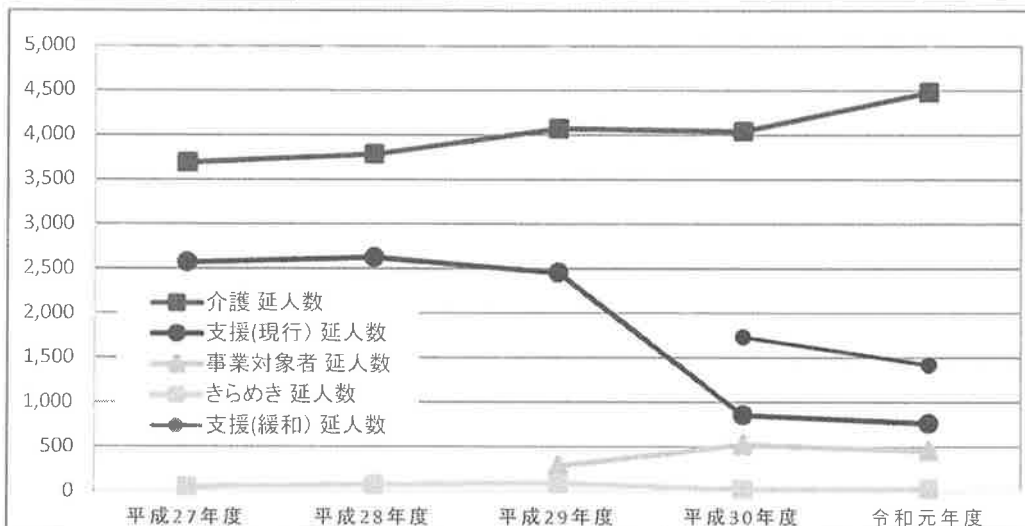
通所介護

介護保険対象者の方や、総合事業の通所型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方や65歳以上の方で介護認定を受けていない介護予防対象者の方が利用されています。

○デイサービスセンターおおぐす荘（令和元年度年間開所日合計238日、1日平均利用者数29人）

定員 介護・現行30名（年間平均利用72%） 緩和20名（年間平均利用39%）

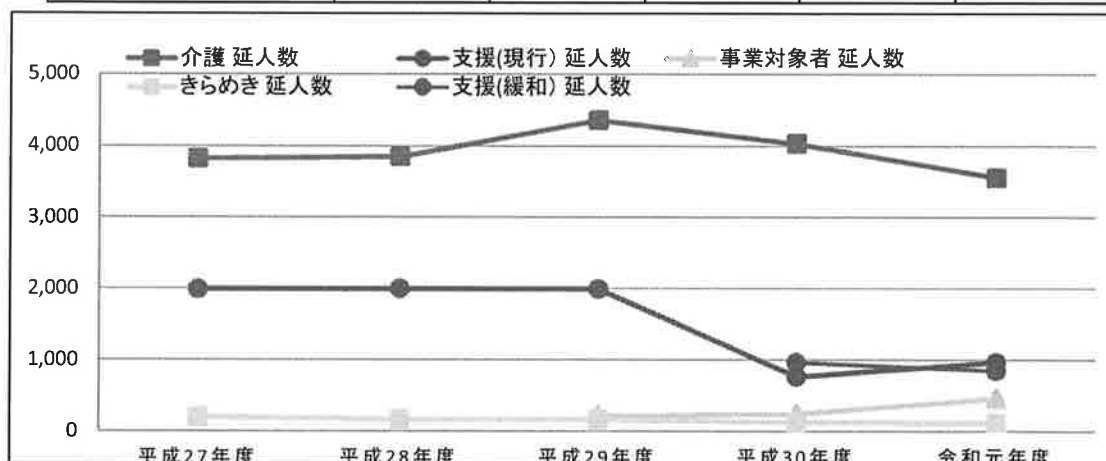
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
介護	実人数	61	58	34	48	65
	延人数	3,691	3,785	4,071	4,041	4,481
支援(現行)	実人数	51	56	37	24	15
	延人数	2,572	2,626	2,455	857	764
支援(緩和)	実人数				33	45
	延人数				1,732	1,418
事業対象者	実人数			12	15	7
	延人数			283	522	454
きらめき	実人数	5	4	4	2	1
	延人数	49	76	89	22	23



○デイサービスセンターさざんか荘（令和元年度年間開所日合計238日、1日平均利用者数24人）

定員 介護・現行30名（年間平均利用65%） 緩和20名（年間平均利用31%）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
介護	実人数	60	57	40	43	51
	延人数	3,822	3,849	4,357	4,032	3,558
支援(現行)	実人数	40	40	31	12	17
	延人数	1,993	1,994	1,992	765	968
支援(緩和)	実人数				19	23
	延人数				967	849
事業対象者	実人数			4	9	9
	延人数			216	243	462
きらめき	実人数	19	10	11	8	8
	延人数	201	167	165	128	119

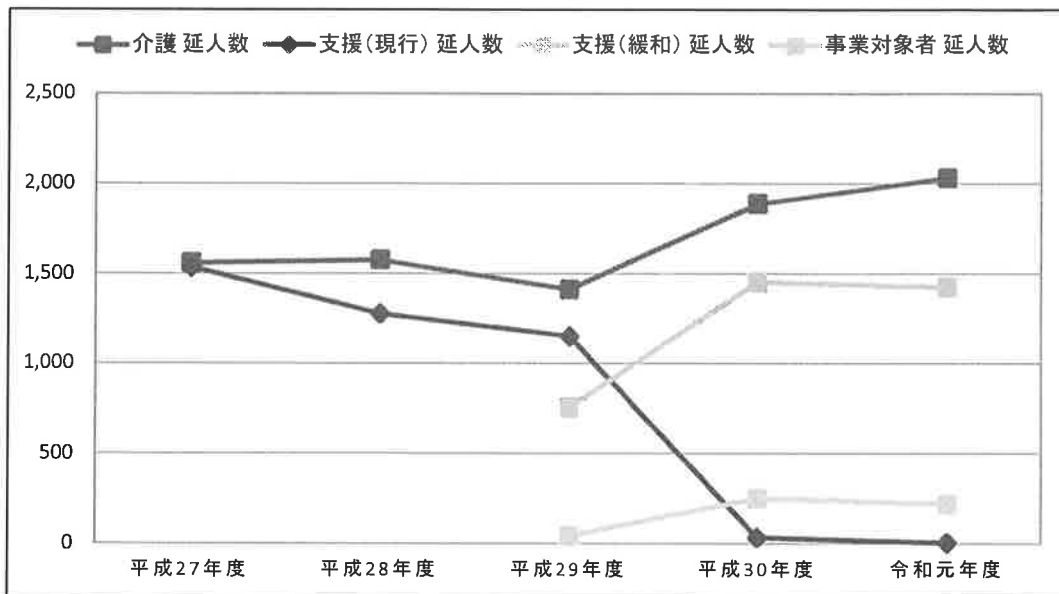


○ホームヘルプセンター

介護保険対象者、総合事業の訪問型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方々に身体介護、生活援助の提供を行っています。

（令和元年度年間開所日合計241日、1日平均訪問数15人）

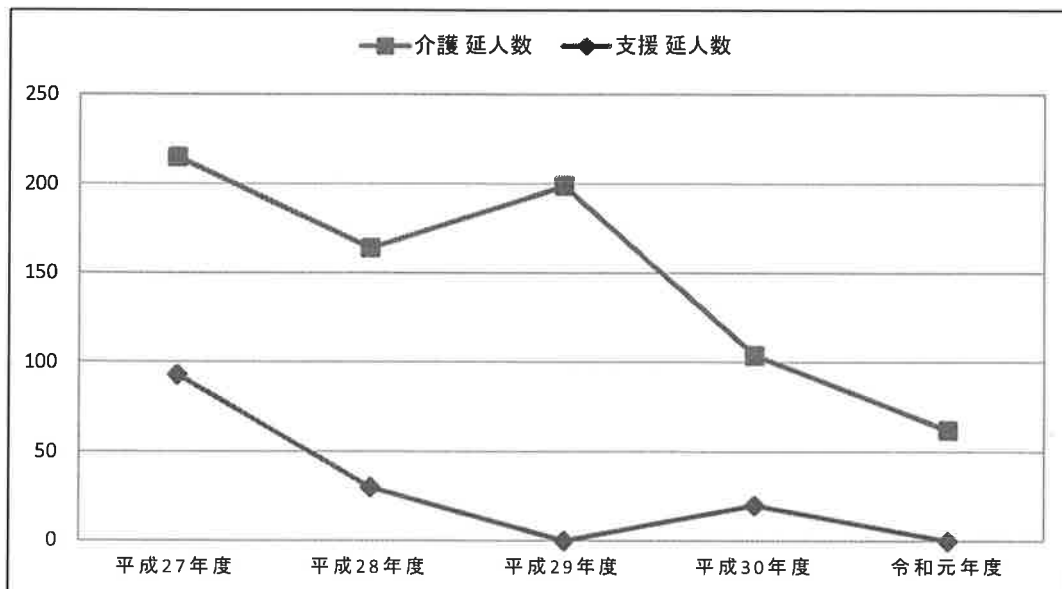
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
介護	実人数	27	20	13	19	29
	延人数	1,561	1,577	1,413	1,890	2,034
支援（現行）	実人数	29	22	14	1	2
	延人数	1,538	1,278	1,152	34	5
支援（緩和）	実人数			10	25	34
	延人数			755	1,455	1,426
事業対象者	実人数			1	6	5
	延人数			44	251	219



○訪問入浴センター

移動浴槽を利用者様宅へ運び室内に設置し、介護職員、看護師により入浴の提供を行います。令和2年2月末より休止しています。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
介護	実人数	5	7	4	4	5
	延人数	215	164	199	104	62
支援	実人数	1	1	0	1	0
	延人数	93	30	0	20	0

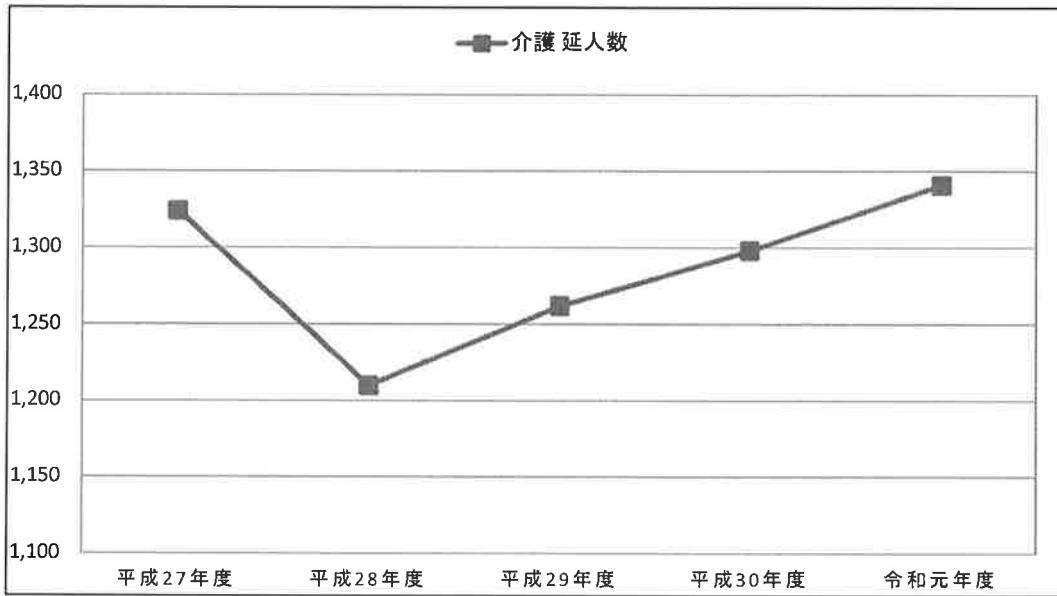


○居宅介護支援事業所

介護保険に関する相談、介護保険の申請代行、介護支援サービス計画の作成、居宅において日常生活を営むための調整を行います。

(令和元年度介護支援専門員3名 年間平均担当92%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
介護 延人数	1,324	1,210	1,262	1,298	1,341



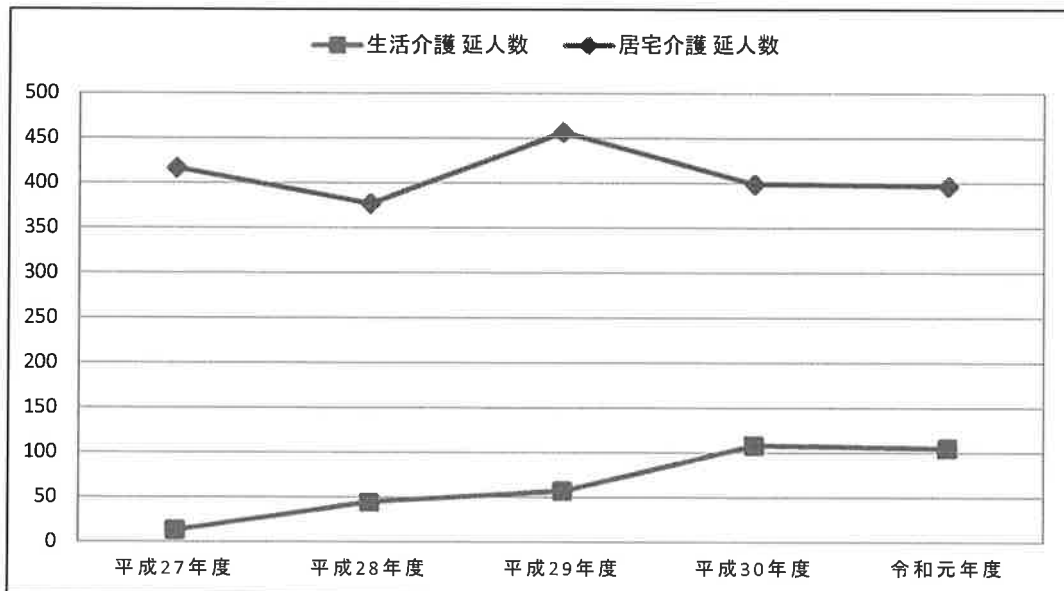
○障害福祉サービス

居宅介護…障害者総合支援法で訪問介護の利用が認められた障害者世帯等に訪問して日常生活上の援助を行っています。

生活介護…社会参加、自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上を日中時間帯に提供させていただきます。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
生活介護 実人数	1	3	1	1	1
生活介護 延人数	13	45	57	108	105
居宅介護 実人数	8	8	7	10	9
居宅介護 延人数	417	377	457	399	397

※生活介護：デイサービスセンターさざんか荘 居宅介護：ホームヘルプセンター



東みよし町地域包括支援センター

令和元年度 地域包括支援センター事業報告

事業経過報告

令和元年度は、前年度に引き続き東みよし町に即した町づくり地域包括ケアの実現に向けて「介護予防」「総合相談」「権利擁護」「個別地域ケア会議からの地域課題の抽出」「介護支援専門員の資質向上」「認知症への取り組み」に重点を置き、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう関係機関との連携強化を図り、地域づくりに取り組みました。

I. 介護予防ケアマネジメント業務

包括支援センターが実施する介護予防教室等の周知や教室で、介護予防の情報提供及び地域の実態把握を行うことで介護予防普及啓発と健康増進活動の支援を行いました。

①サービスC対象者の訪問・相談（のびのび教室）

訪問・相談数

区分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	内実人員
訪問	12	14	13	39	21
来所	0	0	0	0	0
電話等	0	0	0	0	0
計	12	14	13	39	21

②サービスC対象者に係る介護予防ケアプラン

作成数

区分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	内実人員
通所型（委託分）	0	0	0	0	0
（教室分）	12	14	13	39	21
訪問型（専門相談）	0	0	0	0	0
（配食）	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	12	14	13	39	21

評価数

区分	件数
プラン継続	0
プラン変更	0
（内訳）	
介護給付に変更	1
予防給付に変更	0
終了	18
合計	19

③一般高齢者の介護予防事業実施

	実施回数	参加者数	実施者数
講演会（介護予防教室）等での介護予防についての教育	3	77	5
相談会等での介護予防相談支援	0	0	0
その他（のびのび教室・介護予防サポーター養成講座等）	18	317	13

実施担当者

保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	その他
19回	12回	12回	0回

II. 総合相談支援業務、権利擁護業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、高齢者やその家族、近隣の住民等からの様々な相談に対応し、相談内容に即した情報提供、関係機関の紹介等を行いました。

①相談件数

区分	件数	内実人員	夜間等対応		
			平日（昼間）	17:15~8:30	休日（昼間）
①介護保険その他の保健福祉サービスに関する事	414	209	411	1	2
②権利擁護（成年後見制度等）に関する事	7	5	7	0	0
③高齢者虐待に関する事	9	6	9	0	0
④その他	139	63	134	0	5
合計	569	283	561	1	7

②相談内訳

※①②③④は1の相談内容区分による。

（関係機関は行政・医療・保健・福祉関係）

担当者別 相談内容	相談方法			相談者				合計	
	訪問	来所	電話等	本人	家族	地域	関係機関		
保健師等	①	21	13	39	19	31	3	23	73
	②	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	8	5	39	13	22	3	11	52
社会福祉士	①	42	22	72	29	67	14	26	136
	②	0	1	2	0	3	0	0	3
	③	0	0	2	0	2	0	0	2
	④	3	2	12	6	6	1	4	17
主任介護支援専門員	①	50	8	144	85	70	15	32	202
	②	2	1	1	2	1	0	1	4
	③	6	0	1	2	5	0	0	7
	④	28	0	45	32	22	2	17	73
計		160	52	357	188	229	38	114	569

- ・出張地域包括支援センター（相談コーナーの設置）
開催回数 1回 参加者数 130名 相談者数 0件
- ・認知症初期集中支援
0件
- ・東みよし町における困難事例要因調査の実施
今期については実施がありません。

③地域包括支援ネットワーク構築

地域及び関係機関、民間事業所との連携を図ることで、地域の実情に応じたネットワークを構築し、早期発見・見守り体制の強化に取り組んでいます。

・地域包括支援ネットワーク構築	開催回数	49回	参加者数	1,820名
・ネットワーク会議の開催・参加	開催回数	5回	参加者数	261名
・地域ケア会議等の開催	開催回数	16回	参加者数	331名
・さんカフェの開催	開催回数	5回	参加者数	88名

④実態把握調査 0件

訪問等により高齢者の実態把握を行い、サービス利用の支援や情報提供、ネットワークによる見守り活動などにつながるよう支援活動を行いました。

事業別調査状況

事業名	件数	備 考
実態把握	420	訪問による実態把握
緊急通報装置貸与事業	1	東みよし町実施の高齢者在宅福祉事業
運転免許証返納者への対応	10	地域支援
合 計	431	

Ⅲ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、個々の高齢者の状況変化に応じた適切なケアマネジメントの長期的な実施、ケアマネジャーの技術向上のためケアマネジャーの日常的個別指導、支援困難事例等への指導・助言、ケアマネジメントの公正・中立性の確保を図るため、地域のケアマネジャーの後方支援をするとともに、多職種連携・協働による長期継続ケアの支援が行われます。

①包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

区 分	実施回数	参加者数
関係機関との連携づくり	32	1,137
医療機関との連携体制づくり	6	221
地域のインフォーマルサービスとの連携づくり	11	462

・主治医と介護支援専門員との連携体制の構築

開催回数 5回 参加者数 191名

・地域ケア会議等により効果的な介護予防・生活支援サービスの総合調整の活動促進を図っています。

・福祉事業所との連携体制の構築

グループホーム及び小規模多機能運営推進会議への参加	参加回数	12回	94名
施設の空床数・待機者数の把握（情報連絡シートにより）	協力施設	40施設	毎月

②介護支援専門員に対する個別支援

区 分	実施回数	担当		
		保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	32	0	3	29
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	4	0	0	4
質の向上のための研修	6	0	0	6
介護支援専門員のケアマネジメントの指導	2	0	0	2
介護支援専門員同士のネットワーク構築	11	0	0	11
介護支援専門員に対する情報支援	14	0	2	12
居宅サービス事業所等への研修等の働きかけ	1	0	0	1
その他（委託事業所説明会等）	3	0	1	2

（再掲：介護保険最新情報の提供（電子メール媒体）

提供回数 8回 事業所数 40事業所

・ケアマネ研修会の開催・参加	開催回数	6回	参加者数	110名
・資質向上のための研修会の開催・参加	開催回数	30回	参加者数	2,606名
・介護支援専門員に対する個別支援	実施回数	58回		

IV. 介護予防給付のケアプラン

介護認定において要支援1・2と判定された人を対象に、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるように要支援状態の悪化の防止、自立を目指して介護予防ケアプランを作成し、適切に予防給付によるサービスが提供されるよう連絡調整を行いました。

①介護予防ケアプラン給付管理状況（件）

作成数	年度分			月遅れ			合計	月平均
	新規	初回	継続	新規	初回	継続		
要支援1	14	9	289	1	1	4	318	27
（内委託分）	0	0	20	0	0	0	20	2
要支援2	23	30	1,106	5	2	11	1,177	98
（内委託分）	1	2	160	0	1	0	164	14
合計	37	39	1,395	6	3	15	1,495	125
（内委託分）	1	2	180	0	1	0	184	15

②介護予防ケアプラン、総合事業ケアマネジメント作成数

※サービス担当者会を実施した作成プラン数

	介護予防ケアマネジメント	総合事業ケアマネジメント	合計
件数(件)	487	52	539

③介護予防支援業務委託の状況

委託事業所別件数

委託事業所数（令和元年3月末現在）

事業所名		3月件数（件）
管内事業所 (6)	健生西部診療所	1
	介護福祉センター ライフ・アップ	1
	健祥会イントロセンターウエスト	6
	合同会社 あさひ	3
	合同会社 はちどり	2
	あいの郷	1
管外事業所(2)	介護支援センターほほえみ	1
	ケアプランセンター海薔	1
合計		16